

## 神戸発 減装ショッピングのこれまでと今後 減装フォーラム

2012/02/10  
神戸市北神区民センター

神戸大学大学院経済学研究科 教授  
非営利活動法人ごみじゃぱん 代表  
石川雅紀

2012/2/6

©石川雅紀

1

容器包装ごみを減らしたい!

でも…

「お店に置いてないから買えない」  
「包装は企業に考えてもらわないと…」  
「包装を簡易化するのは儲ける為でしょ…」

vs.

「買ってもらえないから作れない」  
「包装を簡易化してクレームが出たら困る」

簡易な包装の商品の方が、  
ごみが少なく社会的メリットがあり、  
よく売れるシステムを実証すればよい

2012/2/6

©石川雅紀

2

## 簡易包装商品が売れない理由

買う時にごみの事まで思いが至らない

## ではどうするか?

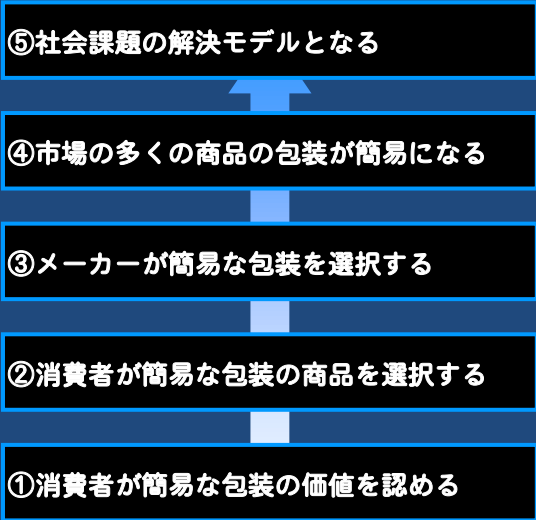
### 生活者側の対策

- ・ごみ問題を自分事化する
- ・ごみ問題をより深く理解する

### 事業者側の対策

- ・商品棚で包装ごみの情報を提示
- ・包装を簡易化する。

# Gomi-jp 発生抑制の提案



購買の瞬間に包装ごみを意識する

2012/2/6

©石川雅純

5

## 店頭での販売促進



2012/2/6

©石川雅純

6

# 減装（へらそう）パトロール



2012/2/6

石川雅紀

# 商品棚



2012/2/6

石川雅紀

## チラシ：6万部配布

**減装**

できるだけ、ごみをつくらない生活へ。  
ごみを減量(へらそう)。

Gomi-jp

へらそうしようひん  
**減装**

洞爺湖サミットもある今年、  
神戸市の「ごみの現状」も  
なんとかしなければ...

ごみの収集量：約74万トン(約100万トン)  
(5カ年度スタジアムの約7.5倍)

市民一人1日あたりのごみ量：1.330g

家庭から出るごみの内、容器包装ごみは!  
重量で全体の1/5、体積では60%にも及ぶ。

ごみ処理にかかる市民一人あたりの  
年間負担金額：約17,000円  
(1人負担総額約88,000円)

ごみを減らすのは、ごみを減らすと一緒。  
行動する市民の意識改革が大切です。

東灘区の皆さん、  
おチカラを貸してください。

昨年夏に六甲アイランドでの実施に引き続き、今年も「ごみを減らす実験」を東灘区で行います。ふたんのお買い物を通して、包装ごみ少ない商品(減装「へらそう」)商品を購入するだけで、ごみは減る、という実験です。これは同時に、ごみ処理に伴って排出されるCO<sub>2</sub>などの温室効果ガスの排出量削減にもつながります。また処理にかかる費用(税金投入)も少なくなり、その分を別の公共目的に使うことができます。今年もエコポイントが一人一人のごみからの削減額も、神戸大学・関西大学などの学生たちが、包装ごみ少ない商品(減装商品)をなんと約500品測定し、品別に並べます。実験期間は5月15日(木)～8月15日(金)の3ヶ月間。実験結果は、期間中の販売量から「ごみの発生削減量」を算出し、公表いたします。皆さまの思い、物価騰貴の変化で、どうごみが減るか楽しみです。

実現は、私たちがGomi-jp(ごみいりびり)が行います

2012/2/6

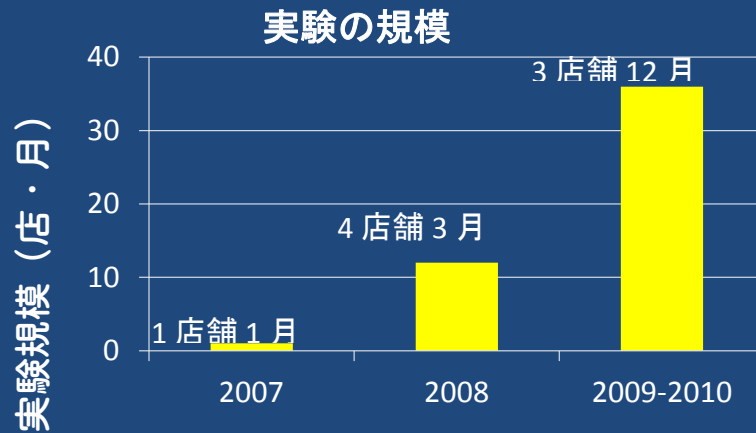
## 推奨された減装商品 2009-2010

減装商品数： ca. 1,200  
重量測定商品数： ca. 4,000  
カテゴリー数： 119

減装商品の包装指数は、カテゴリ内全商品

の包装指数の **48%**

## 減装ショッピングのこれまで



2011/11/01よりダイエー社神戸市内直営全店舗(22店舗)で減装ショッピングを期限を切らずに展開開始。

2012/2/6

©石川雅紀

11

## 減装ショッピングのこれまで

## 参加流通チェーン数

2007: コープこうべ

2008: コープこうべ, ダイエー

2009-2010:

コープこうべ, ダイエー, ジャスコ

2011: ダイエー神戸市内直営22店舗

2012: コープこうべ, ダイエー, ユニー,  
ドラッグユタカ

2012/2/6

©石川雅紀

12

## 実験で判った事と課題

### 2007年実験（コープ六甲アイランド）

結果：推奨商品はそれ以外の商品より売れた。

課題：普通の住宅地でも効果が上がるか？  
生協で無くても効果が上がるか？

### 2008年実験

（東灘区コープこうべとダイエー各2店舗）

結果：東灘区でも効果あり。

ダイエーでも効果あり。

課題：学生の関与が無くても効果は上がるか？  
店舗での日常活動として行えるか？

## 実験で判った事と課題

### 2009-2010年活動

結果：・学生の特別な活動が無くても効果が上がった。  
・店舗によっては、メンテナンス、POSデータの取得の負荷が大きいことが分かった。  
・ダイエー社が神戸市内全直営店舗で期限を切らない活動開始

課題：・流通チェーンで減装ショッピングと経営に取り入れる。  
・神戸以外の地域に展開する。

## 次のステップ

### 他地域への展開：

- ・大垣市での実験的展開
- ・環境省からの助成金

### 協力流通の拡大

- ・ユニー，ドラッグユタカ社の参加

### 協力メーカーの拡大

- ・研究会メンバーへの勧誘
- ・中小企業にも参加しやすい仕組み

## 大垣での実験計画

期間：2012/2/19-3/3 (2週間)

### 推奨カテゴリー：

生活雑貨	食品
シャンプー・リンス(D)	レトルトカレー(D・U・Y)
ボディーシャンプー(D)	PETボトル飲料 水・お茶(D・U・Y)
液体洗剤(D・U)	ロールパン(D・U・Y)
食品用ラップ(D・U)	レトルトライス(D・U・Y)
ハンドソープ(D・U)	

(D:ダイエー鈴蘭台店、U:ユニークアウォークで展開、Y:ユタカ本店)



## 生活者側の活動

### 減装生活実験の概要：

- ・ 神戸市北区の生活者110世帯の参加
- ・ 可燃ごみと容器包装プラスチックごみの重量を自分で測定
- ・ ごみを意識しない1週間とごみ減量を意識した1週間（2011年10月実施）
- ・ ごみじゃぱんがデータを集計・分析
- ・ 事後に定量調査と定性調査

2012/2/6

©石川雅紀

17

## 減装生活実験

### 目的：

- ・ 生活者が包装ごみを自分事として意識する
- ・ 生活者自身が包装ごみを減らす方法を考える

### 仮説：

- ・ 生活者はごみを意識するとごみが減る
- ・ 生活者は減装生活実験に参加する事で、包装ごみ問題を自分事としてとらえる

2012/2/6

©石川雅紀

18

## 減装生活実験

### 減装生活実験で分かった事

- ・ **ごみを意識すると可燃ごみ、プラスチック包装ごみも約20%減らす事ができた。**
- ・ **しかし、減らした方法は、主に分別であり、プラスチック包装ごみの発生抑制に関しては、企業側への期待感が強い。**
- ・ **買う時に包装ごみを意識する等、動機付けできる事がわかった。**

2012/2/6

©石川雅紀

19

## まとめ：今後の展開

### 減装ライフスタイルの普及・定着を目指して

#### 減装ライフスタイルの両輪

- ・ **生活者側での減装生活**
- ・ **事業者側での減装ショッピング**

生活者と事業者が協力して  
ごみの少ない社会を作りましょう。

2012/2/6

©石川雅紀

20